

平成26年度 附属学校園存続のための特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	附属特別支援学校における研究の成果を全国へ発信する取組(2)
事業実施代表者名	校長 小栗祐美
実施附属学校名	北海道教育大学附属特別支援学校
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>①学会への参加、発表</p> <p>本年度は、平成26年9月21日(金)から高知県で行われた第52回日本特殊教育学会に、本経費を利用し、本校研究部が参加した。特別支援教育の最新の情報を入手し、次年度以降の本校研究テーマ設定に関する貴重な機会となった。別経費の発表では、本校の研究や取り組みの成果を全国に向けて発信した。また、平成26年10月18日(土)から北海道教育大学旭川校で行われた第9回北海道特別支援教育学会においては、本経費を利用して自主シンポジウムでの発表を1本行った。内容は、「自らコーディネートする力」を高める授業づくり～自分の良さを生かし、より良い自己選択・自己決定ができるために～(本校の研究)である。別経費の発表と合わせて、本校の研究や取り組みの成果を全道に向けて発信した。</p> <p>②附属札幌小中ふじのめ学級との研究交流</p> <p>平成26年11月21日(金)にふじのめ学級の研究大会に参加し、本校の研究の取り組みをポスターにて発表する。平成27年2月7日(土)に行われた本校の公開研究協議会では、ふじのめ学級の研究をポスターにて発表してもらい、その準備を行った。</p> <p>③学部案内、入学者募集ポスターの制作および配布</p> <p>前年度までは、各学部に様式等を任せていた学部案内を、広報企画部が中心となり、共通の様式で、見やすく、分かりやすくなるように見直し、本校入学希望者、学校見学者、教育関係者に配布した。また、入学選考に関わり、入学希望者の増加を目指し、入学者募集ポスターについても見直した。本校の各学部の特色を入れて興味や関心を引くように制作し、配布先についても前年度より大幅に増やし、115箇所に掲示してもらった。</p>
成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)	<p>①特別支援学校についての評価は、文部科学省の施策を先導的あるいは実践的に行うほか、学会等への発表をすることで、その評価を受けるという面も多くある。本年度も可能な限り、日本特殊教育学会と北海道特別支援教育学会への参加を呼びかけ、自主シンポジウムやポスター発表で本校の研究や実践を広く全国、全道、地域へと発信することができた。参加された方々からいただいた</p>

	<p>多くの意見や指摘、感想は、今後の本校の研究や取り組みを継続、発展させるために不可欠である。また、学会に参加することにより、他の発表を多数見聞きし、様々な情報を本校に持ち帰り、次年度以降の本校の研究テーマの方向性を示唆してくれるものと確信している。課題は、次年度以降も学会への参加を継続させ、研究の成果や取り組みを引き続き広い地域へ発信していく必要があることであり、そのためにも研究予算の確保をしていきたい。</p> <p>②附属札幌小中ふじのめ学級との研究交流を、本年度も互いの研究会等でポスター発表をとおして相互に行えたことは、附属の特別支援学級や特別支援学校がどのような研究を行っているかをそれぞれの地域で発信することになり意義が大きかった。今後も継続していき、次の段階で何ができるかを模索し、それを実現させていくことが課題である。</p> <p>③学部案内を共通して見やすく、分かりやすくしたことが、本校への入学希望者や学校見学者には好評であった。また、入学者募集ポスターを刷新し、配布先を多くしたことは、結果として、本年度は、本校入学希望者増加に寄与できたと考える。次年度以降も本校への入学希望者を増やすための一つとして、この取り組みを継続していく必要がある。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>本校の任務や本学の中期目標・中期計画の実現へ向け、引き続き本校の研究や取り組みを全国、全道、地域へ発信していくことは重要であり、附属学校の役割として期待されている。そして、その内容については先導的であり、地域のニーズに応えられるような具体的かつ実践的なものでなくてはならない。そのためにも学会等への参加や発表、ふじのめ学級との研究交流等を推進し、本校教職員の資質や能力の向上に結び付け、それを地域に還元することで、地域の教育力の向上に寄与していきたい。また、広報活動にもさらに力を入れ、小学部、中学部、高等部の教育についても、その一貫性を重視した学部案内等を充実させ、本校入学希望者増への様々な取り組みにつなげていきたい。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>本校ホームページにて、研究の外部発表への取り組みと入学案内において志願者の状況を随時掲載。</p>

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。